

別紙5 環境省「星空観察」取組報告書

登録した 撮影団体名	大牟田市
継続観察 登録地点	リフレスおおむた
地点登録 番号	(非公開)
環境省 「星空観察」へ の取組内容	<p>星空観察でどのような取組を行ったか、自由に記入してください。</p> <p>2月9日(土)に、リフレスおおむたのキャンプ場で星空観察会を実施。親子21名(大人10名、小学生9名、幼児2名)が参加。環境省の冬の星空観察の「天の川」観察シートとGANの観察シートを使って、肉眼観察を行った。天文薄明の20分ほど前から観察を始めたが、子供たちはすぐに明るい星をたくさん見つけて大いにぎわった。天文薄明を迎える頃には参加者のほとんどが冬の大三角～ぎょしゃ座・おうし座周辺の星座を追えるくらいになった。観察の結果は大きなパネルにシール投票をもらった。</p> <p>なお、観察会日程は環境省の呼びかける日程から外れていたことから、2月4日(月)に、運営スタッフが下見調査とデジタルカメラでの夜空の明るさ撮影を行った。環境省への写真提出及びGANの報告は2月4日の観察結果を報告した。</p>
活動内容	<p><b>活動の概要(100～150字程度)</b></p> <p>大牟田市は、光害の啓発のため昭和62年8月から継続して星空観察をおこなっている。当初は、市内各地の公民館や市北部の甘木山など複数の会場で観察していたが、現在は市街地の明かりの影響が少ない現在地1ヶ所での観察を継続している。</p>
	<p><b>光害防止や大気環境保全に資する活動があれば記載してください。(100～150字程度)</b></p> <p>光害のことを説明するために、模擬実験を行っている。          模擬実験では演台の上に線香を数本立てて、その明かりを星に見立てる。          線香の前に網戸を立てて、空気中のほこりに見立てる。          参加者側から線香や網戸に懐中電灯の明かりを当てて、町の人工光に見立てる。          実験を通して、空気中のほこりと人工光が光害の原因であることを説明する。</p>
	<p><b>郷土の環境を生かした活動や地域に根付いた活動、地域おこしの推進に貢献したと思われる活動があれば記載してください。(100字～150字程度)</b></p>
その他	PRLしたいポイントや、活動内容が分かるHP等があれば記載してください。
情報の公表	<p>お送りいただいた報告書の内容について、環境省のホームページにて公表させていただく場合があります。情報公表の可否を教えてください。</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> 可      ・      <input type="radio"/> 不可         </p>